

# 広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和7年11月20日発行

No.156



(妻籠大橋より蘭川上流を望む)

蘭川は大平峠を源流とする一級河川です。なぜ「あららぎ」という地名・河川名なのか、ふと不思議に思いました。検索してみると3つの候補が浮かび上がりました。

1. ノビルの古名（阿良々岐）
2. 藤袴の古名（万葉集では蘭と記されている）
3. イチイの別名（北海道、東北での呼び名）

はてさて、どれでしょう？いずれにせよ、妻籠地区にとって昔から生活と共にある大切な川です。

小笠原 美雪



## 信州歴史的まちなみフォーラム 2025in 稲荷山

副理事長 新井 新作

10月19日（日）に、千曲市稲荷山で信州歴史的まちなみフォーラムが開催された。妻籠より中央道、長野道を経由して姨捨スマートインターチェンジを通過、車で2時間強を要する位置にある。

稲荷山は天正12年（1584）頃に上杉景勝により稲荷山城が築かれ、千曲川左岸に南北に延びる町が形成された。城は後に廃城となったが、江戸時代に善光寺街道（北国往還）の宿場町として整備されている。弘化4年（1847）の善光寺地震と地震により発生した火災により、町は壊滅的な被害を受けた。震災後、江戸時代末期から明治以降、生糸や繊維製品の集散地として当地方有数の商業地として繁栄している。

往時をしのぶ建物は東西約200m、南北約850m、面積約13haの範囲に重伝建建造物として残っている。現在残っている建造物群は、弘化4年の善光寺地震以降のものである。

午前中に行われた町歩きで見学した建物は、大変重厚な土壁を有する大きな商家、土蔵群、なまこ壁を持つ3階建ての土蔵まであった。一部立ち入りを許された、商家として使われていた建物は、大断面の柱・梁で構成された総ケヤキ造りであった。総じてこの地区の重伝建の建物はケヤキが使用されているとのことであった。市による保存工事は年3～4件とのこと。まだ十数件のバックオーダーがある説明を受けた。他人事ながら建造物の内容から莫大な保存費用の工面に同情した。早急な修景が望まれる。

いずれにしても保存・修復が進み多くの人々が訪れることを祈念するばかりである。



〈稲荷山蔵の会理事長田中さんの店舗〉



〈旧稲荷山本陣〉



〈洋風建築の菅谷医院〉



〈午後は稲荷山公民館でフォーラム〉



理事長 藤原 義 則

本年度の全国町並みゼミは日本を飛び出して台湾で行われました。愛会からは、私と新井副理事長が参加したのでその報告をします。

ゼミは10月31日から11月3日まで2泊3日の日程で台北市アジアコミュニティ展示会場にて行われました。私ども2人は、その前日（29日～30日）町づくりに携わる大溪の人々とのミーティングに参加して、妻籠宿の過去、現在についての報告と、現在の宿泊業、地域文化観光についてのテーマで交流し、地元まちづくりの方々と正午から夜遅くまでまちづくりにかかわる女性を中心に密度の濃い話し合いを持ちました。

31日からの町並みゼミは、国際会議そのものでした。台湾、日本、マレーシア、タイ、インドネシア、香港等10ヶ国から総勢300名の参加でした（日本からは約140人参加）。第1日目は開会セレモニーと丘如華実行委員長の台湾からの報告、各地からの報告は日本（妻籠・小樽・八女福島）マレーシア（マラッカ・ペナン）タイ（プーケット旧市街）香港（薄鳧林村）・台湾（台北赤峰街・馬祖東莒・中部地区・苗栗苑裡）と多くの地域から報告がありました。私は「愛する会事業の紹介」と題してアフターコロナの様子、これからの課題を報告しました。懇親会は美味しい台湾料理をいただいて多くの方々と交流ができました。

二日目のまちあるき＋分科会は都市保存と多元的発展のグループで台湾博物館～等雲号火車～菊元百貨店～中山堂～撫台街洋楼～台湾博物館鉄道部園区と盛り沢山の町あるきでした。交流会も多様な問題と本音の話し合いができました。三日目は前日の分科会報告、総括講評・峯山富美賞贈呈式・台北宣言、閉会式と盛り沢山のプログラムが続き、あっという間の台湾ゼミでした。

自分たちはフライトが翌日早朝でしたので、午後は故宮博物館を35年ぶりに見学して帰国しました。博物館は以前見学した時よりリニューアルされ日本語での解説をヘッドホーンで聞きながらの見学でした。非常に広く展示物も多くて見応えのある世界4大博物館だけの事はある博物館です（半日では見切れません）。

今回の第48回ゼミを主催されました丘実行委員長をはじめ多くの方々のご労苦、ご尽力に感謝します。その努力が大成功となりました。最近のゼミの中では見応え、聞き応え、十二分のゼミでした。関係各位の努力に感謝します。ありがとうございました。



〈大溪の方々との交流会〉

〈町並みゼミ台北大会〉





恋野 牧野 裕子

運動会の当日は、前日までの雨が上がり運動会日和となりました。旧妻籠小学校の校庭は、整備され白線が引かれて朝の清々しさと満ちていました。

地区対抗では、今年は3、4区が合同となり3チームとなりました。みんなで参加して楽しもうという願いが伝わってきました。入場行進では、それぞれの年代の方々に加えて、乳幼児や小、中学生が賑やかに参加されていて、これからが楽しみで嬉しい気持ちになりました。

競技では、私は、ゲートインと太公望に参加しました。運動は苦手なのでドキドキしましたが、そんな緊張感も普段の生活では体験できないので、参加して良かったと思います。一方、太公望の参加者が少なかったことには、さみしさも感じました。

孫達とは「1人で色水入れたよ、頑張ったでしょ!」(納税貯金)5才。「お菓子もらって走ったね、またやりたいね!」(おやつ時間ですよ)2才。地区の方からも「かっこよかったよ!」と声をかけてもらって大満足。「運動会楽しかったね!来年も出る!」と、その日の夕食は運動会話題で賑やかでした。

人生「百年」と言われるこの頃です。健康に気をつけること、地域との繋がりを持つことが大切だと改めて感じた運動会でした。

最後になりましたが、準備をしてくださった大会役員の皆様、ありがとうございました。



〈おやつ時間ですよ〉



〈ヨーイ・ドン〉



〈収穫の秋〉



〈まず準備体操から〉



〈ゲートインワン〉



〈タッチダウン〉



## 橋場 加藤 英 幸

妻籠地区の運動会が、鈴木分館長、三浦主事、分館役員の皆さんの努力のおかげで、10月13日に旧妻籠小学校校庭で行われました。和智塾の森の下、小学校の校庭に子どもたちの声が戻ってきました。

晴天の下、9時より運動会の競技が始まり、分館役員の工夫により、小学生から大人までが参加できる競技です。1区、2区、3区・4区は合同チームとなり、得点をつけずに和気あいあいと進行していききました。

大人の玉入れでは、腕が上がらずに、なかなか玉が入りませんでした。5個くらいは協力できたかなと思いました（自分で思っているだけです）。参加者の皆さん、ケガもなく無事に全競技を終え、松下妻籠地域振興協議会長の万歳三唱で終了しました。今日一日楽しく過ごせましたが、明日の筋肉痛が心配です。

最後に、分館役員の皆さんにお礼を申し上げ、来年を楽しみに一年を過ごして、皆さんの元気な顔を見たいですね！



〈加藤さん大活躍の玉入れ〉



〈いすとり〉



〈開会式〉



〈バランスリレー〉



〈魔女の宅急便〉



〈締めくくりは紅白リレー〉



## 【妻籠の「御城印」 発売】

10月7日に妻籠観光協会から妻籠城の「御城印」が発売されました。御城印が入った袋の中には、妻籠城についての説明文も入っています。妻籠観光案内所にて1枚300円で販売されています。妻籠城址からは妻籠宿が一望できます。多くの人に興味を持っていただけるといいですね。



## 【お月見飾り】

今年のお十五夜は10月6日でした。雲の多い夜でしたが、雲の隙間から一瞬見ることができました。妻籠は山が迫っているので、晴れていれば場所によって何回もお月見ができます。

妻籠観光協会女性部では「おもてなし」の一環としてふれあい館で、「月見」をイメージした飾り付けが10月末まで並べられていました。

宿場の中のお月見を楽しみながら皆さん歩いていました。



〈ふれあい館〉

## 【外来植物駆除講習会】

木曽風景街道推進協議会と豊かな環境づくり木曽地域会議主催による外来種駆除及び講習会が木曽町三尾分館で8月25日に開催され理事長が参加しました。下の写真の「タカサゴユリ」は重点対策外来種です。綺麗な花ですが、植栽はやめましょう！



〈近年南木曽町でも「タカサゴユリ」が目立ちます〉

## 渡島出身の勝野眞言氏 恩賜賞・日本芸術院賞受賞！

妻籠地区渡島出身の勝野眞言（かつのまこと）さんが、2024年度恩賜賞・日本芸術院賞を受賞されました。6月24日には天皇陛下もご臨席された授賞式が行われました。

勝野氏は、蘇南高校卒業後、武蔵野美術大学大学院修了。熊本市の崇城大学芸術学部長などを務められました。

受賞を受けて、10月25～29日の町民展と同時に作品展が開催され、50点ほど展示された勝野さんの作品を大勢の町民の皆さんが鑑賞しました。

## 宿 場 暦

- 8月 8日：撮影許可審議委員会  
 13日：三役会  
 15日：撮影許可審議委員会  
 20日：統制委員会、広報155号発行  
 23日：テレビ東京撮影  
 24日：愛宕山火まつり  
 25日：外来種駆除作業及び講習会（木曽風景  
 街道推進協議会：木曽町・理事長）  
 28日：妻籠宿案内人の会学習会（田原家）  
 29日：空き家対策特別委員会  
 9月 1日：日本遺産木曽路サミット in 木祖村  
 （理事長）  
 6日：ドイツテレビ局撮影  
 8日：香港テレビ局撮影（～9日）  
 10日：名古屋経済大学斎藤ゼミ来宿（理事長）  
 11日：町政報告会（妻籠町並み交流センター）  
 12日：大学生卒論相談（理事長）  
 18日：県立ち入り検査、三役会  
 19日：理事会  
 20日：村上淳氏叙勲記念祝賀会（理事長）  
 22日：統制委員会、長野放送撮影  
 24日：撮影許可審議委員会  
 25日：広報部会  
 26日：歴史的まちなみネットワーク会議（安  
 曇野市・理事長）、南木曽町観光振興  
 委員会事前打ち合わせ（常務理事）  
 10月1日：第1回南木曽町観光振興計画策定委員  
 会（常務理事）、北恵那交通路線バス  
 妻籠出発式、信越放送撮影  
 6日：第58回文化文政風俗絵巻之行列第1  
 回実行委員会、奥ジャパン撮影  
 9日：衣装部会  
 12日：妻籠地区運動会  
 15日：妻籠宿案内人の会学習会  
 16日：撮影許可審議委員会  
 19日：信州歴史的まちなみフォーラム 2025 in  
 稲荷山（正副理事長）、令和7年度第3  
 回観光地点パラメータ調査  
 20日：統制委員会、撮影許可審議委員会  
 23日：広報部会  
 24日：空き家対策特別委員会  
 25日：一石柵立場作業（6名）、BSフジ旅番  
 組撮影（～26日）  
 29日：第48回全国町並みゼミ台湾大会（正  
 副理事長～11月3日）、南木曽町リニ  
 ア中央新幹線対策協議会（理事長・常  
 務）、テレビ信州撮影

## 統制委員会審議事項

- 8月20日  
 ・令和7年度県単治山事業第3号工事  
 （大妻籠：県）1件  
 ・雨戸袋修繕（寺下：個人）1件  
 ・簡易水道配水管、給水管布設工事・水道給水加圧  
 ポンプ室、引込装柱設置工事  
 （中町軽便道：町）1件  
 ・倒木除去、高圧線張替、防護管付替え工事  
 （恋野：中電）1件  
 ・簡易水道配水管・給水管布設及び消火栓設置工事  
 （上在郷：町）1件  
 9月22日  
 ・電線防護管撤去（尾又：中電）1件  
 ・配電線設備の保安伐採（妻籠地区：中電）1件  
 ・倒木除去、高圧線張替、防護管付替え工事（期間  
 延長）（恋野：中電）1件  
 ・電柱建替に伴う電線の移設工事  
 （大妻籠：中電）1件  
 ・電柱及び電線の撤去・新設、耐摩耗ポリ管撤去工事  
 （大妻籠：中電）1件  
 ・土間打ち（寺下：個人）1件  
 ・群状択伐（軽便道、橋場・下り谷：関電）2件  
 ・既存看板の盤面修繕（町営第1駐車場：町）1件  
 10月20日  
 ・鉄塔の一部補修  
 （米山沢38か所・一石西山2か所：関電）2件  
 ・支障木枝払い及び伐採（尾又・吾妻橋：関電）1件  
 ・群状択伐（橋場・下り谷・渡島：関電）4件  
 ・地下水変動観測用の観測井設置  
 （下り谷：リニア関連）1件  
 ・四阿の屋根塗装（一石柵白木改番所：教委）1件  
 ・舗装修繕工事（渡島久保洞：町）1件  
 ・道路改良工事  
 （下町三叉路～恋野防火水槽：町）1件

**景観保持のため、宿場内での路上駐車は  
やめましょう！**

### 【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事  
前に統制委員会への届出が必要となります。申請  
用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教  
育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

発行：公益財団法人妻籠を愛する会  
 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2  
 TEL:0264-57-3513（FAX兼用）



## 下町 磯村 琢 弥

今回は与の洞沿いにある石垣を見に行きました。まずは城山坂下の、どんど焼きをする場所近くの橋から与の洞へ向かいます。



〈ここから沢へ〉

南木曽町誌を見ると、戦沢から与の洞までの地名の最後のほうに、赤坂、広瀬九郎右衛門隠居分、緑み亭、城山往還下と書いてあり、建物跡らしき地名があるので、赤並と与の洞の間にあるのではないかと思います。与の洞を上流へ向かって歩きました。少し歩くと立派な石垣が見えてきます。しかし建物が建っていたようには見えません。この辺りの農地は石垣が立派なので普通に田んぼを支える石垣のような感じかもしれませんが、「地名が語る妻籠村」には、昔の与の洞を渡る橋は15メートル程上流にあったが流されたという話を書いてあったので、橋の跡かもしれません。それなら対岸にも何かあるのではないかと見てみると、まったくそれらしき石積みはなく、新しい石積みがあります。洪水で崩れ落ちてしまったのでしょうか。それとも橋ではなく、祠か水車小屋があったのでしょうか。



〈石垣があります〉



〈近づいてみます〉

さて、地名の建物跡らしき場所を探しに上流へ向かいます。軽便道に架かる橋までは特に何もありませんが、橋を越え、少し林のほうへ入ると、ここにも石垣がたくさん残っています。この石垣は、溜池に水を引く水路を石積みで作ったもののようにも見えます。ちなみに何年か前に、この溜池の水を全部抜いて工事をしていましたが、特に変わった物はありませんでした。与の洞を右手に見て、もう少し奥に行くと、石がたくさん積み上げられています。農地にするために片づけたのか、石垣用の形に割る場所だったのかはわかりませんが、ここは興味深い場所です。広瀬さんのお墓も近くにあるので、この辺りが広瀬九郎右衛門隠居分という地名であるならば、緑み亭という地名はどこなのでしょう。潔く町誌編集者に聞くしかなさそうです。



〈ここにも石垣があります〉



〈石を割っていた?〉

近頃、熊の被害のニュースが多いので、次回は熊が出そうな所を紹介しようと思います。